

# パネルディスカッション登壇者プロフィール

講演者



株式会社 早和果樹園

秋竹 俊伸 氏(和歌山県)

1975年和歌山県生まれ。地元高校卒業後、静岡県果樹園芸試験場興津支場(現、農研機構 果樹研究所柑橘研究興津拠点)でみかんを学び、1996年実家である有田みかん農家に就農。2000年、出荷母体である早和共選組合の法人化に伴い、(有)早和果樹園に入社。当初は非常勤で実家の農業を営んでいたが、加工事業の進捗により2008年に総務部長として常勤社員に。以後、取締役総務部長、取締役専務を経て、2017年9月に(株)早和果樹園の代表取締役社長に就任。現在、経営者としてヒトモノカネ情報など経営資源の確保に動いている。本年4月より経営の勉強のために同志社大学大学院に入学し、2年後のMBA取得を目指している。

パネラー



夢想農園

堀田 悠希 氏(中札内村)

短大卒業後に中札内村にUターン。中札内村農業協同組合にて勤務。2012年、土幌町の農業後継者との結婚を期に夢想農園へ就農。時代の流れとともに「誰から野菜を買うか」ということにお客様の関心の高さを感じ、イベントやマルシェへの出店、農場開放を行い、積極的に消費者と繋がる仕組みづくりを確立。また、百貨店・飲食店・卸しからのニーズに対応すべく直販事業をスタート。2017年 土幌町道の駅ピア21しほろの運営委託を受託するため、株式会社at LOCALを設立。2018年 道の駅ピア21しほろオープン。通過型の道の駅ではなく、滞在型の道の駅になるよう、居心地良さの追求や、しほらしさを活かした商品開発を行い、何度も来なくなる道の駅を目指している。現在年間40万人を越す道の駅に成長。

パネラー



有限会社 竹下牧場

竹下 耕介 氏(中標津町)

1974年生まれ 地元普通高校卒業後2年間家を離れ、20歳で牧場に戻る。23歳で経営移譲。2008年法人化。2006年に受精卵でブラウンスイスのメスが生まれる。現在相当数(360頭)の1割を占めほどになる。2006年より牛の万歩計とミルクメーターを導入しセンサー技術を用いて牧場の技術の見える化につとめ、初心者でも働きやすい環境を作る。2018年より『ゲストハウスushiyado』を共同運営、2019年『竹下牧場チーズ工房』を夫婦二人で開設、販売開始、2020年牧場内にレンタルキッチン『ウシベース』を建設しスープなどの惣菜加工に取り組み、牧場を中心に新しいコミュニティの場を構築中。

コーディネーター



株式会社GB産業化設計

岩井 宏文 氏(札幌市)

宮城県出身。(株)GB産業化設計 代表取締役。道内中の農業法人からの情報をもとに、幅広い事業者と連携し、情報収集から構想作成、事業設計、関係者調整など、実現に向けた準備を進め、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え「しくみ」を設計構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。一方で、積丹半島をフィールドにクラフトジンを製造する、(株)積丹スピリットの代表取締役も務める。令和2年6月に初蒸溜製品「KIBOUきぼう」の販売を開始、好評を博している。

## 申込欄

農場名(会社名)		役職	
お名前		年齢	
業種	稲作 ・ 畑作 ・ 園芸 ・ 酪畜養豚 ・ その他( )		
ご住所			
連絡先電話番号		売上	円
交流会	参加 ・ 不参加		※売上はグループディスカッションのグループ分けの参考にさせていただきます。 ※会費は、当日受付にてお願いいたします。 ※複数名の場合はコピーしてお使いください。

北海道農業法人協会事務局まで、FAXまたはメールにてお申し込みください。

FAX 011-233-0133 メール kaji@h-agri.jp お申し込み〆切:2020年10月31日